

「殺生石」物語考

物語の概略②

那須宗重の妻の一件が、解決するとともに、往来人と領民の失踪事件は急速に鎮まった。時が移り、鳥羽天皇が譲位し崇徳天皇の時代になると、那須地方にはしばし平穏が訪れる。

しかし、宝延三年（一一三七）九尾の狐は再び活動を始める。父母や妻子、兄弟、縁者などが次々と殺され、泣き悲しむ者が岐に満ちた。人々は昼でも戸を閉め、往来には人無く、生活の営みが消えた。那須宗重は、ついに、狐退治の加勢を朝廷に訴える。

公卿たちは衆議した結果、安房国（現千葉県）の三浦介義純と、上総国（現茨城県）の上総介廣常を大将に任じて、節刀を賜り、それぞれに、騎馬五〇騎と、士卒、列卒七千五百人、計一万五千人の官兵を授けた。

しかし、武力だけでは、密かに危ふんでいた三浦介は、ある夜、霊夢の中で、諏訪明神から白木の弓と鷲の羽根の征矢を

授かる。同夜上総介も又、日頃信心の高良明神から大身の槍を授かった。

朝廷は又、安倍泰親に対し、九尾の狐の、空飛ぶ術を封じよとの旨を下し、三百人を与え、一足早く、那須野へと出立させた。三浦介、上総介両将は、犬を狐に見立てた狩りの訓練「犬追いもの」を行った後、旗指物を風に翻し、刀槍を日に閃かしながら都を進発した。

九月、安倍泰親は、那須野で那須宗重と対面し、修法の場を九良神山の高台に設定する。三浦介、上総介も那須野に到着し勢揃いをする。一番には赤旗、二番には槍二千筋、三番には幕四番には犬千疋、五番には太鼓百、六番には法螺貝三百、七番には鉦三百が、列をなして居並んだ。

那須宗重は直ちに、那須野ヶ原の中央に、三浦介、上総介をして自分の陣を設置した。

筆者 前那須歴史探訪館 館長

齊藤 宏壽 先生(湯本在住)

今月のひとこと

厄を除けよ嵐避けよと獅子は舞い
高き秋空稲穂の実り

かつこう

まちづくり懇談会が開催され、町民の皆さんと町長が直接意見を交わしました②・3頁。様々な意見・提案が出されましたが、皆さんの那須町に対する真剣で熱い思いが伝わってきました。この懇談会は、協働のまちづくりの場として貴重な機会です。夢ある未来のため一緒に那須町を元気にしましょう。

米

「恐竜たちは、迫力があり美しくてすばらしい生き物だったと思います」と表現した恐竜くん(33頁)。恐竜くんは6歳で恐竜に興味を持ち、16歳でカナダに単身留学したそうです。私には、幼児が2人います。これから色々なことに興味を持ち、学んでいく子どもたち。遠くない将来、「夢に向かって進みたい」と告げられたとき、それがどんな夢でも応援できる親でありたい。

飯

34頁の「カフェ蕾さん」は先日黒田原夏祭りで偶然立ち寄ったお店で、気さくに声をかけてくれたオーナー夫妻にひかれ、どんなお店を営まれているのだろうと興味を沸き、取材を申し込んだ。飾らない人柄だが、自分たちのペースで着実に夢を実現している姿に勇気をもらった。取材後はなんとも言えない充足感が心が満たされ、いつの時代も「出会い」は大切にしたいと改めて感じた。

高

こんにちは

赤ちゃん



大金 えいと 衛人 くん (上町)

平成30年 5月1日生

父 光晴さん 母 あかねさん

衛人くんは…

お姉ちゃんたちにかわいがられて、わんぱくに育っています。

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは総務課秘書広報係(☎72-6901)まで。

町の世帯と人口

(8月1日現在・住民基本台帳)
()の数字は前月比

・世帯数 10,377世帯 (+39)
・人口 25,181人 (+32)
男 12,502人(+8) 女 12,679人(+24)

あなたの「声」をきかせてください

地域の身近な情報や、広報「那須」の感想・ご意見をお待ちしています。お名前と連絡先とともに下記までお寄せください。